

印刷産業失業者同盟を起すの件

理由

我國資本主義の崩壊は、も早や決定的のものである。現在の社會狀況を見よ。失業者の大群は街頭に投げ出され、日を追いて其の数を増して行く。

実にこの問題は現在我々無産階級に最も重要にして切迫せる問題である。これが問題は何ゆる労働団体の輿論となりて、各方面に於て失業対策委員会が設けられてゐるが、不幸にして未だ強固なる結成を見らざる。殊に近時類聚する印刷産業の争議に數多きの犠牲者が街頭に送られんとしてゐる。これが適當なる組織に結成することは、何よりの急務でなければならぬ。

実行方法

- 一 失業者の登録を開始すること。
- 二 印刷産業の組合に提議し、密接なる連絡を取つてこの運動を進めよう。
- 三 全國的失業者同盟を速かに結成すべし努力すること。
- 四 失業及失業者の対策を協議すること。
- 五 これが準備の実行委員を挙げることにす。

消費者組合運動に關する件

理由

従来消費者組合に對しては、それを以て單なる経済的組合と見做されてゐると云ふ誤った見解があつた。然し乍ら消費者組合は、単なる経済的組合の一形態であり、一闘争機關でもあり、一防衛機關でもない。即ち消費者組合は、経済的攻撃者者に對抗するための機關である。

殊に資本主義社會の最後の段階たる帝國主義社會に於ては、本家國家は、その經濟的其利益の安定と、其の利益の増進とを、生産と取引とに求めず、特權と特權とに求め居る。かく、消費者に於ては生産と取引との鍵を握る消費者組合が著しくその利益を増加した事は当然である。

資本攻撃の現在に於ては、階級闘争の大眾的機關の成るに、積極的的活動をなすには、消費者組合、無産階級或は労働組合と同一く階級闘争の大眾的機關である。それは決して政治的意識を欠く事なからず、経済的機關には、

而して、消費者の日常闘争は、消費者組合の所屬する日常闘争である。